

| | | | | | | |
|-------|-------|------|-----------|------|---|------|
| 指定校番号 | 28055 | 学級活動 | 児童会・生徒会活動 | 学校行事 | ○ | 別紙様式 |
|-------|-------|------|-----------|------|---|------|

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|-------------|----|-------|--------|-------|
| 学校名 | 安芸太田町立加計小学校 | 校長 | 佐々木 亮 | 生徒指導主事 | 細川 隆典 |
|-----|-------------|----|-------|--------|-------|

取組事例名 『夏季マーチングバンド合宿』

取組のねらい『キーワード 人間関係づくり・自主性』

- 集団生活を通して、規律や協力することの大切さを学び、協調性や連帯意識に基づくよりよい人間関係を育てる。
- 3泊4日の長期の合宿で行われる集団生活を通して、児童の自主性をはぐくむ。
- 普段できない活動を通して、合宿を支えてくださる人々に感謝の念を持たせることで、子供達の道徳性を高めていく。
- バンド練習を集中して行うことで演奏技術を高める。音楽活動を通して心を豊かにし、感動を味わう。

取組の具体的内容『キーワード 集団活動による人間関係づくり』

平成 25 年度から始まったマーチングバンドの合宿は、翌 26 年度から山・海・島の体験活動として、5・6年生の参加によって行われてきた。今年も夏季休業中に3泊4日の日程で、校区内にある川・森・文化交流センターで合宿を行った。マーチングバンドの合宿は、児童の道徳性を育成するために、家庭や地域社会との連携を図りながら、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動の豊かな体験活動を積極的に取り入れてきた。バンド練習に関しては、楽器のパートごとに分かれて切磋琢磨する演奏指導を行い、合宿の最終日には、地域の方や保護者の方に日頃の感謝の気持ちを伝える「ありがとうコンサート」を開催し、コンサートの中では練習の成果を発表するだけでなく、合宿を行うことができたことに感謝する気持ちを、多くの観客の前で自分の言葉で伝えている。コンサートは成功に終わり、子供達は満足感や達成感をもって本年度の合宿を終えることができた。



取組の課題・創意工夫『キーワード 様々な活動』

マーチング練習をメインとしながら様々な活動を仕組む

○児童に関して

- ・楽器のパートごとに分かれた楽器練習，大学生との演奏会
- ・パートリーダーを中心にした話し合い活動，協力しての活動，規律ある生活
- ・部屋での寝食を伴った集団生活
- ・自然の中での川遊び，飯盒炊さん，星空観察

○保護者・地域に関して

- ・保護者と連携しての昼食づくり，保護者の演奏会の鑑賞
- ・大学生による児童への楽器の指導，専門的な技術を持った指導者による演奏指導
- ・地元施設を利用した合宿活動，地域の方々の演奏会の鑑賞



取組の成果（効果）『キーワード 満足感』

具体的に合宿後のアンケートから、「自分に割り当てられた仕事は、しっかりやる。」という項目では、児童の100%が肯定的評価を行っている。「自分とちがう意見や考えを受け入れることができる。」も同様に100%の肯定的評価を行った。「責任を果たすこと」「人を受け入れること」は、人間関係づくりの基本でもあり、合宿の成果があったと言える。アンケートの自由記述の中には「いろいろ教えてもらったり、支えてもらったりした人に感謝したい。」という感謝の気持ちが出ているものが多くあり、子供達の道徳性も高まってきた。

4日間を通して、寝食を共にし、指導をしていただいたボランティアの大学生とは、心が通い合う人間関係になることができた。また合宿の生活から、普段の生活を多くの人々に支えてもらっていることに気付いた子供達が多かった。



今後の展開『キーワード 発展的な継続』

夏季マーチングバンド合宿に代わる他の活動も検討したが、来年度も今年度に引き続き、夏季マーチングバンド合宿を実施する予定である。次年度もマーチング練習をメインに据えながら、他の活動を充実させ、人間関係づくりや児童の自主性を高めていきたい。

他校へのアドバイス『キーワード 活動・保護者・地域』

本校ではマーチングバンドによる活動をメインの活動として合宿の中心にすえている。合宿の中心を充実させることによって、他の活動も活性化できると考えている。また保護者や地域と関連した活動の工夫によって、子供達は夏季マーチングバンド合宿が多くの身近な人々によって支えられていると実感できる。